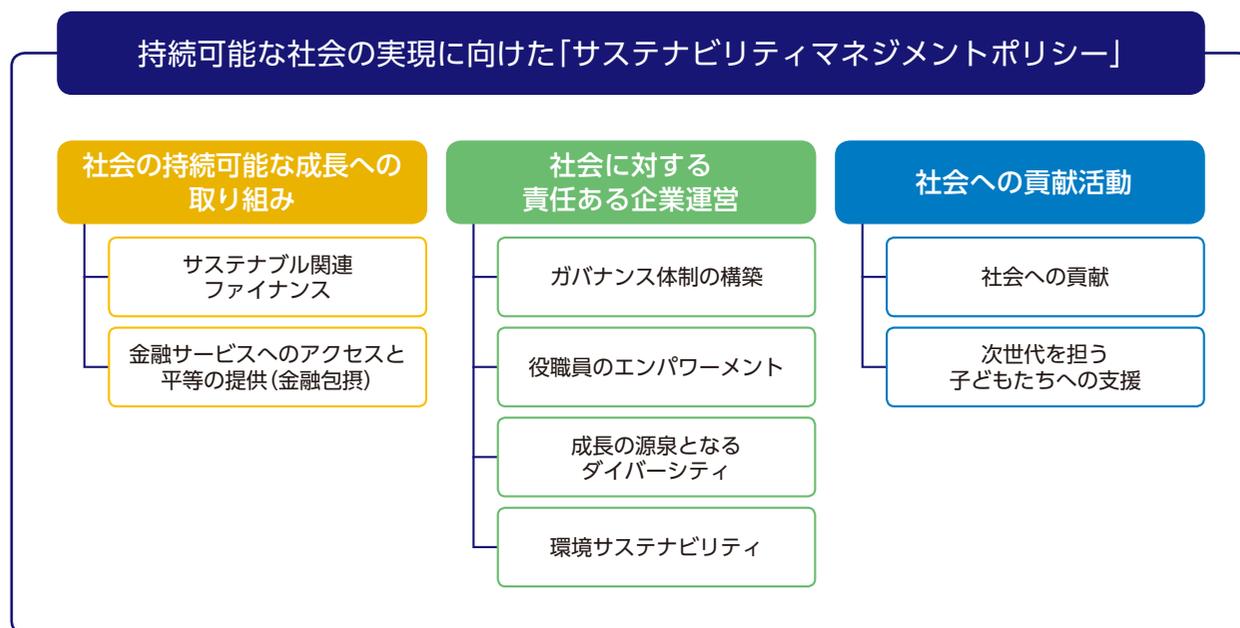


サステナビリティの取り組み

社会の課題解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

▶ サステナビリティ取り組み方針

持続可能な社会に向けたサステナビリティへの取り組み方針として、2023年1月に「サステナビリティマネジメントポリシー」を定めました。「社会の持続可能な成長への取り組み」「社会に対する責任ある企業運営」「社会への貢献活動」という3つの分野において、当行における8つのマテリアリティを特定しています。



▶ 推進体制

当行では、執行役会でサステナビリティに関する重要事項の確認と協議を行い、取締役会に定期的に報告することとしています。サステナビリティへの取り組みを強化するため、関係部門からなる「サステナビリティ推進チーム」を立ち上げ、サステナビリティへの取り組みに関する全体管理や企画は経営企画部が中心に行い、組織横断的な取り組みは、サステナビリティ推進チームが検討・推進する体制にしています。



気候変動への対応

持続可能な社会の実現のため、役職員による省資源・省エネルギー・リサイクル活動を行い、環境負荷低減に努めています。省エネルギー設備・機器への入れ替えのほか、サプライヤーへの対応、リスク管理を進め、気候変動対応の取り組みを推進しています。

CO₂排出量の削減

経団連カーボンニュートラル行動計画フェーズⅡに基づき全国銀行協会が定めた基本方針の2030年度におけるCO₂排出量を2013年度比で51%減とする目標に対し、2023年度実績は66.7%減を達成しました。

温室効果ガス (GHG) 排出量・エネルギー使用量・電力使用量

計測項目	単位	実績年度							
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
CO ₂ 排出量 (Scope1+Scope2)	t-CO ₂	3,418	3,094	2,670	2,334	1,947	1,724	1,750	1,522
エネルギー使用量合計 (原油換算)	KL	1,758	1,635	1,444	1,282	1,095	991	984	856
エネルギー使用量合計 (熱量換算)	GJ	68,150	63,398	55,976	49,718	42,471	38,426	38,173	33,205
電力使用量	千KWh	6,709	6,312	5,582	4,974	4,261	3,856	3,830	3,332

省エネ・環境配慮型製品の導入

エコオフィスの実現に向け、省エネビルへの入居や、省エネ機器や環境に優しい素材を積極的に導入しています。省エネ性能の高い空調設備やLED照明への移行、サステナブルな材料から作られた部材や低燃費車両の利用を通じて、エネルギー消費の削減に努めています。FSC認証紙の利用はもちろん、サプライヤー選定では、環境への配慮を企業文化とする事業者を優先し、環境負荷の少ない商品を採用しています。

ペーパーレス化・リサイクルの推進

デジタル化を進め、ペーパーレスオフィスの実現を目指しています。業務プロセスの見直しや文書の電子管理の徹底により、紙の使用量を毎年継続して削減しており、2023年11月に紙出力のさらなる削減を目的に複合機の設置台数を半減しました。役職員の環境意識向上により、すべての廃棄文書の再資源化、オフィス備品や文具の再利用も継続しており、リソースの有効活用と廃棄物の削減に貢献しています。

サテライトオフィス・テレワークの活用

営業店の一部スペースのサテライトオフィス化やテレワークの実施により、職住近接型のワーキングスタイルを推進しています。通勤距離を短縮することで交通機関から排出されるCO₂の削減となるよう意識した取り組みをしています。

気候変動リスクへの対応

SBTi (Science Based Targets initiative)* に取り組んでいる親会社のCTBC Financial Holdingと連携し、当行も温室効果ガス排出量の算出および削減目標設定に向けた取り組みを開始しました。

*パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標の設定支援・認定を行う国際イニシアチブ。

マテリアリティ(重点課題)と具体的な取り組み

マテリアリティ	具体的な内容/主な取り組み	関連するSDGs	関連ページ
サステナブル関連 ファイナンス	金融サービスを通じた企業の持続可能な成長の促進を支援 <ul style="list-style-type: none"> ベンチャー企業支援 事業承継への取り組み 	9 産業とインフラの持続可能な発展 11 持続可能な都市とコミュニティ	P.27～28、35
金融サービスへの アクセスと平等の提供 (金融包摂)	従来金融サービスを十分に受けられなかった例えば高齢者・外国人などのお客さまに注力し、利便性の高い金融サービスを提供 <ul style="list-style-type: none"> リバースモーゲージ「充実人生」 永住権をお持ちでない外国籍のお客さま向け住宅ローン「スター住宅ローン」 日本非居住者向けスター不動産投資ローン「東京招福星」 	9 産業とインフラの持続可能な発展 10 公平な社会と包摂 11 持続可能な都市とコミュニティ	P.25～26
ガバナンス体制の構築	コーポレート・ガバナンス、法令遵守、リスク管理、情報セキュリティ強化のための健全な枠組みの構築 <ul style="list-style-type: none"> 各種方針の策定 サステナビリティ推進体制の構築 	16 公平な社会と包摂 17 パートナーシップによる開発	P.36、53～54、62～70
役職員の エンパワーメント	人材を重要な財産と捉え、自律的キャリア構築、エンゲージメント向上を支援 スマートオフィス環境の構築 職場の公平性と健全性を通じ自由と規律の共存する自律型組織への変革 <ul style="list-style-type: none"> 人材基盤の強化 働きやすい・働きがいのある職場環境 	3 健全な経済成長 5 公平な社会と包摂 8 豊かさと持続可能な成長 10 公平な社会と包摂	P.34、41～52、72
成長の源泉となる ダイバーシティ	多様な人材により、組織の活性化や新たな価値創造につなげる <ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方 グローバル人材の活躍推進 	5 公平な社会と包摂 8 豊かさと持続可能な成長 10 公平な社会と包摂	P.3～4、41～52
環境サステナビリティ	「省エネルギー、脱炭素への取り組み、環境のサステナビリティ」を基本方針に、事業活動を含め、環境負荷低減に取り組む <ul style="list-style-type: none"> 省エネ・環境配慮型製品の導入 ペーパーレス化・リサイクルの推進 	7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動への対応 14 海洋資源と生態系 15 陸域生態系と持続可能な利用 17 パートナーシップによる開発	P.38
社会への貢献	お客さま、地域社会、地球環境などへの貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> 行員のボランティア参加 子どもの虐待防止「オレンジリボン・キャンペーン」 地域清掃活動への取り組み 	11 持続可能な都市とコミュニティ 15 陸域生態系と持続可能な利用 17 パートナーシップによる開発	P.39、72
次世代を担う 子どもたちへの支援	次世代を担う若者や子どもが、将来希望を持って自立した人生を歩んでいけるように社会課題解決に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> 金融教育の取り組み 子どもの貧困解決のための「東京スター 子ども応援プロジェクト」 	1 貧困をなくそう 4 質の高い教育をみんなに 5 公平な社会と包摂 16 公平な社会と包摂 17 パートナーシップによる開発	P.40

社会貢献の取り組み

企業としての社会的責任を果たし、社会・お客さまとともに発展していくため、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。そして、これらの活動を実施する際の指針となる基本方針として、「社会への貢献」「次世代を担う子どもたちへの支援」の2項目を掲げています。

▶ 社会への貢献

持続可能な社会の実現のため、役職員によるさまざまな活動を行い、お客さま、地域社会、地球環境などへ貢献し、社会とともに持続的に成長する会社になることを目指していきます。

○ FITチャリティ・ランへの協賛

FITチャリティ・ランは、地域に根ざした社会的に意義ある活動をしているものの、認知度などの問題により十分な活動資金を確保できていない団体への寄付を通じて、社会貢献を行うチャリティイベントです。2023年は、国立競技場周辺での実地開催と、自分が走った距離をアプリに記録してオンラインで参加できるハイブリッド形式で開催されました。当行は、役職員とその家族・友人など約40人がランナーやボランティアとして参加しました。FITチャリティ・ランの行内向けの告知や募集、実施サポートなどは本取り組みに賛同する有志の行員ボランティアと新入行員で行いました。



○ 地域清掃活動への取り組み

本店がある東京都港区の溜池山王駅周辺で、2023年4月から11月までに計4回、清掃活動を行いました。延べ141人が参加し、普段業務で関わることがない人やコロナ禍の影響で交流が少なかった行員同士のコミュニケーションの機会にもなりました。本取り組みは、人材育成プログラムの一環として、入行1、2年目の若手行員が中心となり、活動の企画から行内への告知、募集、実施報告まで担当しました。人材育成とあわせ、若手行員の地域社会への貢献意識を育む機会の提供も企図しています。



▶ 次世代を担う子どもたちへの支援

未来の社会がより豊かなものになることを目指して、次世代を担う子どもや若者が、将来、希望を持って自立した人生を歩んでいけるよう、金融教育や貧困・虐待などの社会課題解決に向けた活動を行っています。

○ 金融教育「お金のスタートレーニング」

当行では、子ども・若者に金融教育を行うことは、子どもの貧困連鎖の防止にも役立つと考え、貧困家庭の支援をしているNPOなどと連携して、金融教育「お金のスタートレーニング」を実施しています。2023年秋には新たな取り組みとして、社会的養護施設や里親家庭で生活する高校生を対象としたオンライン講座(全3回)を実施し、47人が受講しました。

○ 東京スター 子ども応援プロジェクト

「子どもの貧困」においては、単純な経済的困窮だけでなく、さまざまな問題を同時に抱えているために、次世代への貧困の連鎖が大きな問題となっています。当行では、2019年から子どもの貧困解決のため、「東京スター 子ども応援プロジェクト」として3つの施策を推進しています。

■ 子ども食堂への活動資金支援

子どもたちの成長環境が温かく、豊かなものになるように、子ども食堂の活動を支援しています。支援金の使途を食材費などに限定せず、子ども食堂のそれぞれのニーズに合わせて、さまざまな使途でお使いいただけることが最大の特長です。2021年からは、子ども食堂が安全に運営できるよう、実施団体のコンプライアンスを支援する「安心・安全プログラム」を提供し、持続性のある子ども食堂の運営にも貢献しています。2024年は当行店舗近隣の子ども食堂を中心に9団体(11拠点)の活動を支援します。



■ 社会的養護施設出身者等への奨学金(東京スター銀行奨学金)

NPO法人ブリッジフォースマイルと連携し、社会的養護施設出身者などを対象にした給付型奨学金制度「東京スター銀行奨学金」を提供しています。金銭的支援に加え、ボランティアが月に1回奨学生と会って話を聞くメンター制度を設けることで精神的なサポートも提供しています。2021年から奨学金の受給条件に毎月家計簿などを提出することを組み込み、金銭管理能力の育成を図っています。



■ シングルマザーへの就労支援

NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむと連携し、シングルマザーの方が、より安定した職業生活と家庭生活を送り、お子さまと安心して生活ができるよう、シングルマザーのための就労支援プログラムを実施しています。2021年からオンライン講座に切り替えたことで、全国各地から参加可能になり、就労支援が少ない地域の方にも受講していただけるようになりました。2023年は、合計30の方が受講されました。

